

仙台厚生病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

通常の診療で得られた過去の診療情報や残存検体等を使用して行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開する事が必要とされています。また、研究結果を学会等で発表する事がありますが、個人を特定する情報は公開されません。

研究課題名	悪性十二指腸狭窄に対する内視鏡的十二指腸ステント留置術の検討
当院の診療科・研究責任者	消化器内科 目黒 陸
他の研究機関	
本研究の目的	悪性腫瘍に伴う十二指腸狭窄は、患者のQOLを大きく低下させる。2010年4月に保険適応となった内視鏡的十二指腸ステント留置術は、現在では低侵襲な治療法として広く普及しているが、ステント再閉塞や逸脱などの機能不全も経験する。本研究はステント開存期間に関連する因子を抽出することを目的とする。
調査期間	2015年2月から2025年3月まで
研究の方法（対象となる方）	2015年2月から2025年3月までの間医悪性十二指腸狭窄に対して内視鏡的十二指腸ステント留置術を施行した方。
研究の方法（利用する情報）	背景（年齢・性別・原疾患）、偶発症の有無、ステント長、ステント径、ステント展開部位、ステント機能不全の有無等
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除致します。 (利用する情報に個人を特定する情報は一切含まれておりません。) 研究結果を学会等で発表する可能性がございますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用致しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	研究への利用を拒否する場合等の連絡先 【電話】 022-728-8000 【担当者】
備考	